



SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて

校長 古屋 澄人

横浜市では、学習指導要領改訂に先駆けて平成30年2月に「横浜教育ビジョン2030」を策定しました。その中に「持続可能な開発目標(SDGs[※])」の達成を目指すことが求められています。本校でもそれを踏まえて「持続可能な開発目標(SDGs)」との関連を意識した授業づくりを行っています。生活科と『横浜の時間』(総合的な学習の時間を核とした各教科との関連を重視した学習)を中心に、地域や社会の出来事から課題を発見し、その課題を自分事として捉え、誰もが自分らしく活躍でき、誰とでも協働し共生できる子どもたちの育成に向けて取り組んでいます。

先日、第1回目の校内の授業研究会を実施しました。今回は個別支援学級、2年2組、3年2組、4年1組が授業公開しました。担任は授業を公開するにあたって、SDGsとの関連を大切に綿密な授業計画をたてて授業に臨みました。その取組の様子を紹介します。

個別支援学級は、もっと仲良くなるためのクラス会を開くことをめあてにみんなが楽しめるゲームを提案して、それについて意見を交換しながら学習を進めています。当日は相手の気持ちを考えた言動を意識しての話し合いやゲームに取り組みました。他者の気持ちや考えを尊重し、他者と協力して活動を進める態度を育てています。2年生は、自分が育てたい秋冬野菜の栽培活動を進めています。野菜の成長の様子に気付いたり野菜への親しみを深めたりする活動です。いずれもSDGsの目標17:「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取組です。3年生は、「恩田タウンじょうほう」として、まちのよさや魅力について伝える学習です。子どもたちが考えているまちのよさと家の人が感じているよさを比べながら、まちのよさについて新たな認識を広げていました。この取組は「目標11:住み続けられるまちづくりを」につながります。4年生は「ハッピータウン計画」として、パラスポーツの「ポッチャ」を通して福祉施設であるシノン青葉台で生活している高齢者の方との交流を進めています。子どもたちは、交流を通して高齢者の皆さんが笑顔になることを目標としています。

「目標3:すべての人に健康と福祉を」につながる取組です。また、現在1年生は、保育園・幼稚園との交流を。5年生は主に環境をテーマにした目標14と15につながる取組を。6年生は、主にキャリア教育をテーマにして目標8とつながる取組を進めています。

これらの活動は家庭や地域の皆様からの協力があったからこそ実現できる学びです。恩田小の子どもたちが、自分の良さや可能性を認識して、多様な人と協働しながら豊かな生活を切りひらき、持続可能な社会の創り手となるよう教育活動を進めます。保護者・地域の皆様にも引き続き教育活動を支えていただきますようご協力をお願いいたします。

※SDGs: Sustainable Development Goals

すべての国連加盟国が2030年までの達成を目指す貧困や環境、福祉などの17分野にわたる持続可能な開発目標。「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」の共通テーマもこのSDGsの17の視点から考えるようになりました。